



～チーム医療の紹介～

今月は鳥取医療センターのチーム医療についてインタビューを行いました。さまざまな職種と連携しながら、専門の知識や技術を活用した看護実践や学習会・研修を行っています。患者様が安心して入院生活ができるようチームで関わっています。



【認知症ケアチーム】

認知症ケアチームは、患者様の症状をアセスメントし、日常生活支援や治療の援助を行います。

患者様との関わり方や環境調整、使用薬剤の観察点などを看護師に指導し、患者様が安心して過ごせるよう、病棟看護師と協力をとり活動しています。



【CVPPP(包括的暴力防止プログラム)チーム】



CVPPPチームは、CVPPPの理念に基づき、病気に対するサポートや療養環境の配慮等、療養生活の中で患者様が安心を感じられるケアの提供に取り組んでいます。

学習会やトレーナー養成研修等を定期的開催し、病気の症状だけでなくあらゆる側面から良いケアの実践につながるよう、頑張っています。

【摂食・嚥下支援チーム】

窒息・誤嚥を防ぎ、食事の喜びを通じ、患者様のQOL(生活の質)向上を図るため多職種共に取り組みを行っています。

摂食・嚥下機能の問題点を早期に発見し、適切なケアの実践ができるよう、スタッフの指導を行っています。

摂食・嚥下支援チーム
(医師・薬剤師・言語聴覚士・管理栄養士・看護師)
が患者様の状態に合わせて検討を行っています。



専門的知識を持った院内認定の看護師と一緒に、安全な食事介助を行っています



【褥瘡対策チーム】

褥瘡対策チームは入院患者様が安心して入院生活が送れるよう褥瘡予防や褥瘡処置に努めています。

多職種(医師、看護師、リハビリテーション科)の共同により、褥瘡発生予防と治療効果を評価するため月2回、病棟に出向き継続的に褥瘡の経過を見ています。



【NST(栄養サポートチーム)】

NSTは、入院中の患者様の栄養状態改善を目的に活動しています。

食事が摂れないと基礎体力が低下し、病気の治療やリハビリテーションの効果が表れにくくなります。

医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・検査技師・リハビリテーション科と多職種で患者様をあらゆる視点から診て、食べられない原因を考え、どうしたら患者様の栄養が改善できるのを提案しています。



【ICT(院内感染対策チーム)】



今年度、ICTは主に3つの取り組みを行っています

1. 手指衛生の向上
正しいタイミングで手指衛生を遵守し、感染症の持ち込みや拡大防止。
2. 感染防止対策の徹底
隙間なくマスクを着用し、飛沫曝露リスクがある時はアイシールドを装着。
全職員への院内感染対策研修の開催と感染防止対策への指導の強化。
3. 安心安全な療養環境の提供
環境ラウンドを実施し、安全で清潔な療養環境の維持を行っています。

